

協働のまちづくり

西根地区の取り組みを紹介

田頭地域振興協議会が活動を本格スタート

住民の協働と連帯意識の高揚を図り、地域社会の発展を目的とした田頭地域発展懇談会は7月7日、田頭公民館で総会を開き、名称を田頭地域振興協議会(伊藤正光会長)に改め、事業計画を決めました。

この協議会は田頭、平笠両地域をエリアに、「伝統ある歴史・文化や豊かな自然を継承し、みんなが真心でふれあう郷づくり」を合言葉に活動を本格化。地域の議会議員や団体の代表者など49人で構成されています。



7月7日、田頭地域振興協議会総会が田頭公民館で開かれました

活動として、地域発展課題の意見集約や地域協働社会形成に必要な事業などを展開。田頭城跡館山公園の環境美化、郷土芸能(民俗行事)の伝承と世代間交流、ムラサキの植栽事業を中心とした花いっぱい運動、平笠フラワールードの環境美化、地域防災への取り組みなど、18年度は具体的な活動方針を踏まえた10カ年計画の策定を予定しています。

市は、協働のまちづくり

くりを支援する立場から、組織の立ち上げや組織の充実、事業計画策定に向けたまちづくりのため、地区公民館との

西根地区「協働のまちづくり」講演会を開催

西根地区「協働のまちづくり」講演会は7月10日、西根地区市民センターで行われました。岩手大学農学部教授の広田純一さんが「地域の特性を生かした協働によるまちづくり」と題して講演。市民や市職員など114人が出席して、市民と民間非営利団体(NP



●広田 純一さん
(ひろた・じゅんいち) 岩手大学農学部農林環境科学科地域マネジメント学講座・教授(農学博士)。東京大学農学部卒業後、同大学院農学系研究科博士課程を修了。県の環境情報協議会座長、農林水産省の農村振興アドバイザーなど各種委員を務める。盛岡市西松園地区をはじめとした市民活動にかかわり、県内各地で地域づくり活動を支援する。

連携を図るとともに、担当を西根総合支所地域振興課に配置しました。また、市は地域振興協議会のコミュニティ形成や活動支援のための事業、地域リーダーを養成するための財政支援も行っています。

〇、行政の協働のまちづくりの在り方や地域づくりの手法について学びました。

広田教授は「協働」を「住民、行政、企業など地域の異なる主体が、共通の目標を達成するために、互いに協力しながら



講演会で協働のまちづくりの在り方や地域づくりの手法を学ぶ参加者

ら対等の立場で実践すること」と定義。「対等なパートナーとして、まちづくりの役割分担と責任を果たすことが大切」と強調しました。

広田教授は続けて「行政が独占する人材や予算、情報を地域と共有しながら進めるための行政改革が必要で、地域は責任を担える体制づくりが必要になる」と地域づくりが成功する秘けつを話しました。

地元学を実践する観点から「地域の特性を生かし、ないものねだりではなく、あるもの探しを」と付け加えました。

県民体育大会の成績

- 山岳◇成年男子▽縦走②翌
■山岳会▽クライミング②翌
■山岳会
- ソフトテニス◇成年男子▽
団体②西根
- ライフル◇男子▽エアライ
フル伏射②工藤輝樹(姥子石)
▽スモールボアライフル3姿
勢①小船清孝(清水)▽スモー
ルボアライフル伏射③小船清
悦(清水)◇女子▽エアライ
フル立射①中村由美子(荒屋新
町)②宮野沙織(荒屋新町)
- 相撲▽少年の部団体①平館
高▽市の部団体②八幡平A▽
個人成年②越田正信(平館高
教)▽個人教員②越田正信③
小野努(西根一中教)
- アーチェリー・ターゲット
▽リカーブシニア③岩渕武彦
(松尾寄木)▽リカーブ成年
女子①岩渕道子(松尾寄木)6
19点〓県新記録【敬称略】

【県スポ少空手道】立柳(西根)2位、工藤(西根)3位

第10回岩手県スポーツ少年団空手道大会は6月11日、大船渡市民体育館で開かれ、市内から小・中学生7人が出場し、2人が入賞を果たしました。入賞したのは、いずれも組

市身障協が準優勝

岩手紫波地区のスポーツ交流会



岩手紫波地区身体障害者スポーツ交流会で準優勝した選手たち

第35回岩手紫波地区身体障害者スポーツ交流会は6月27日、ふれあいランド岩手体育館で開かれました。市身体障害者福祉協会から40人が5競技に出場。競技の結果、7団体のうち準優勝を獲得しました。

安代中が総合優勝

●県中学校相撲大会●

県中学校総合体育大会相撲競技は7月17日、県営武道館相撲場で行われ、安代中学校が18年ぶり10度目の総合優勝を果たすなど、市勢の活躍が光りました。【敬称略】

- 【団体】
▽1年 ②西根一
▽2年 ①安代②西根一
▽最強 ③安代
- 【個人】
▽1年 ①富士拓也(西根二)
③藤川梓之介(西根)
▽2年 ③藤本裕(安代)
- 【総合】
①安代24点②西根一20・5点



総合優勝を果たした安代中のメンバー

県勢初・中村が全日本優勝

ライフル

全日本ライフル射撃大会は7月8日、宮城県石巻市の宮城県射撃場で行われました。荒屋新町の中村由美子さん(19歳)が女子ビームライフル立射に出場し、県勢初の全日本王者の栄冠を射止めました。

今大会は、予選40分で40発、決勝で10発放ち、得点を競いました。中村さんは、予選トップの399点で通過。決勝でも安定した射撃力を発揮し、99点を獲得しました。同い年で高校時代からの友人竹下選手(宮城県)が同点で並び、1発ずつ放つ競射で優勝を争いました。競射一本目、竹下さんは9点。中村さんは持ち前の集中力で10点の的を射抜き優勝しました。(関連記事は13ページ)



全日本ライフル射撃大会の優勝報告に市役所を訪れた中村さん

松尾地区隊が優勝する てんぷらなべの部 婦人消防・初期消火技術コンクール



優勝した松尾地区隊の佐々木・遠藤ペア(写真手前)

初期消火の技術習得と技術向上を図る、平成18年度初期消火技術コンクールは7月1日、矢巾町の県消防学校で開かれました。

大会には、市婦人消防協力隊から西根、松尾、安代の3地区隊が出場。てんぷらなべの部と三角バケツの部が行われました。

火災を消防署に連絡し、消火器でてんぷらなべの火を消した後、たなかでけが人を救助するてんぷらなべの部で松尾地区隊(佐々木洋子さん、遠藤芳子さん)が優勝。3人が力を合わせて、バケツの水で消火する三角バケツの部で松尾地区隊(高橋美代子さん、竹沢由美子さん、工藤よし子さん)が3位に入賞しました。



優勝と3位の成績を収めた婦人消防協力隊松尾地区隊の皆さん

のように訓練してきました。

ポンプ車の部では、6分団(西根)が葛巻町に続く2位に入賞、小型ポンプの部では、33分団(安代)が2位の葛巻町に5ポイント差をつけて優勝しました。優勝した33分団と準優勝の6分団は、県大会に駒を進めました。優勝、準優勝のメンバーは次のとおりです。

(敬称略)

■小型ポンプの部・優勝
▼33分団 安保穰、佐藤一寿、泉山竜一、安保千博、三浦孝博

■ポンプ車の部・準優勝
▼6分団 伊藤勉、加藤光則、岩井寿朗、遠藤慶晴、遠藤輝美、伊藤義文

岩手地区の
操法競技会

小型ポンプで33分団優勝、ポンプ車2位の6分団も県大会へ



小型ポンプの部で正確・迅速な消防技術を披露した33分団

平成18年度岩手県消防協会岩手地区支部消防操法競技会は7月16日、県消防学校で行われ、小型ポンプの部で市消防団安代地区団(33分団)が見事優勝しました。

この大会は、八幡平市の地区大会を勝ち抜いた6つの分団と岩手郡内各町村の大会で優勝した8チームが出場。ポンプ車と小型ポンプの2部門が実施されました。

消防操法は、機器の正確な操作と消火技術のほか、スピードも要求される競技。出場した分団員は、この大会に向けて仕事の後、毎日



ポンプ車の部に出場し、準優勝の成績を収めた6分団

市畜産共進会

【日本短角種 黒毛和種 ホルスタイン種】

手塩にかけて育てた、かわいい牛を披露

牛の体形や発育などを競う第1回市畜産共進会は7月20、21の両日、全農岩手北岩手家畜市場と市畜産共進会場で行われました。金賞以上の入賞者は次のとおりです。(敬称略)

■日本短角種(7月20日)

▽名誉賞Ⅱ小野寺三吉(荒木田)▽金賞Ⅱ16部・遠藤忠孝(西根寺田)、17部・小野寺三吉、18部・宮野米夫(荒屋新町)、19部・伊藤吉範(西根寺田)、伊藤諭一(西根寺田)

■ホルスタイン種(7月21日)

▽名誉賞Ⅱ畠山秀満(大更)、

伊藤新也(田頭)▽金賞Ⅱ1部・畠山秀満、2部・高橋雄司(野駄)、3部・畠山秀満、4部・田村勝(帷子)、5部・遠藤岩男(帷子)、6部・畠山秀満、7部・伊藤新也

■黒毛和種(7月21日)

▽名誉賞Ⅱ佐々木和男(松尾)、田村力男(平館)▽金賞Ⅱ8部・小笠原哲雄(平館)、9部・佐々木正春(松尾)、10部・遠藤光男(西根寺田)、11部・佐々木和男、12部・武田初太郎(大更)、13部・田村力男、14部・鈴木圭一(大更)、15部・工藤忠一(大更)

更、鈴木圭一、佐々木繁(大更)



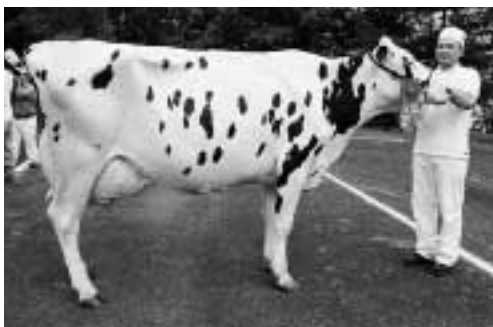
黒毛和種・未經産の部名誉賞のさわこ号



日本短角種・経産の部名誉賞のたかとみ号



ホルスタイン種・未經産の部名誉賞のレモンデール・ダンディー・メロー号



▲ホルスタイン種・経産の部名誉賞のシルバースター・ホワイト・ハッピー号

18年度優良調理師表彰

平成18年度優良調理師表彰者が発表され、市内から6人が受賞しました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)

■県調理師会長表彰

▼畠山正身(野駄)Ⅱ写真①▼川又喜美子(丑山口)Ⅱ写真②

■北岩手県調理師会長表彰

▼高橋ミト(野駄)Ⅱ写真③▼立柳一江(松尾)Ⅱ写真④▼高橋ヤス(松尾寄木)Ⅱ写真⑤▼川又秀幸(沖田表)Ⅱ写真⑥



新体制でスタート

岩手地区桐友会(保護司OB会)

ともあり、今期限りで後進に道を譲りたいとあいさつしました。改選後の役員は次のとおりです。(敬称略)

▼顧問Ⅱ工藤智(田頭)▼会長Ⅱ上沖文男(荒屋新町)▼副会長Ⅱ大柏ちる子(平館)

市遺族会6月1日発足

旧3町村の遺族会は6月1日に合併し、八幡平市遺族会を発足しました。同日、市総合福祉センターで設立総会が開かれ約30人が出席。会長に田村秀夫さん(西根)、副会長に青木正さん(松尾)、島内益男さん(安代)が選任されました。市遺族会の会員は約460人。戦没者遺族の交流を深めるとともに、遺族の福祉向上と平和な国づくりのため活動を展開します。